

横浜国立大学 校友会 会報

vol.02

校友会会報誌「ALL YNU」第2号!



横浜で学び、
横浜から飛び立つ



平成28年度 校友会の活動のご紹介

大学での学び方、グローバルな視野形成、キャリア支援、留学生・社会人・学生交流など、さらに学生のみなさんが主役の組織とするために、「校友会学生幹事会」を立ち上げ、学生目線で活動を充実していきます。



上：長谷部学長から開発部門賞の授与
下：最終審査の発表の様子（上下昨年度）

第3回アプリコンテスト参加者募集と アプリ制作講座開講のお知らせ！



今年度は校友会と横浜国立大学情報基盤センターの共催で開催することが決定しました。本コンテストは、アイデアや企画力を競う「企画部門」、さらに実際にアプリを開発する「開発部門」の2部門で構成されています。「開発部門」の大賞は30万円、「企画部門」の大賞は10万円となっています。また、コンテスト開催にあたり、アプリの作り方や企

画の仕方をレクチャーする講座を開講しました。学生からの申し込み締め切りは8/12までですが、「ITに強い学生の育成」と「学生と社会人の交流」を目的としているこのコンテストに共感・賛同していただける社会人の方は、是非ご寄付をよろしくお願いいたします。

※詳細は、以下のホームページをご覧ください。

2016年アプリコンテスト 開催決定！

申込締切 8月12日（金）
決勝（プレゼン） 11月20日（日）
場所 横浜ワールドポーターズ

▶ <http://ynu.yokohama/yac2016/>

YNUの
3大ビッグイベントを
目指していきます！

学生と社会人との交流（就活にも役立つ）

YNUには多くの国から多数の留学生が在籍

若手社会人と留学生・日本人学生との交流会

一昨年度大好評の交流会一

日本のいろいろな業種の会社、職種に勤務の若い先輩社会人から、日ごろの仕事の内容・やりがい・苦労話・職場の環境（出産・育児等プライベートなことも）な

どの体験談を話してもらい、気軽に何でも質問できる交流会です。OB・OG訪問のきっかけも作ることができます。また、留学生・日本人学生がこの機会に相互に文化・生活・考え方を知ることができます。



若手社会人と留学生・日本人学生との交流会の予定

第1回：2016年10月16日（日）

横浜市開港記念会館にて

第2回：2017年1月20日（金）

東京都港区芝、駐健保会館にて

参加方法は校友会ホームページにて案内します。

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

上：昨年11月20日
ゲストスピーカーの
自己紹介
下：5人の講師別に
車座で気軽に自由
に質問



■ キャリア教育で卒業生が支援

■ グローバルに活躍できる人材を輩出するために

主体的にものごとを考え、グローバルに活躍できる人材の育成が求められる昨今、横浜国立大学では教育の質的転換を図っています。その一つが、学業と職業の係わりを意識させるキャリア教育で

す。校友会は、多様な業界で活躍する卒業生をゲスト講師として紹介し、理論と実践をつなぐ授業作りを支援しています。昨年度は「まなび座Ⅰ」(高大接続・全学教育推進センター 市村光之准教授)を立ち上げまし

た。加えて今年度は「グローバルビジネス・コミュニケーション」(同 市村准教授)、「グローバルビジネス実践論」(経済学部 植村博恭教授)の2科目に協力し、グローバル人材の育成に努めます。

まなび座Ⅰ・ 校友会リレートーク

[1年生春学期]

校友会の協力により昨年開講した教養教育科目「まなび座Ⅰ」(高大接続・全学教育推進センター 市村光之准教授)は、出席率97%、授業満足度3.81(4段階)と好評でした。今年度も春学期に、12名の卒業生をゲスト講師に迎え学生たちと語り合いました。主体的に学ぶとは、スペシャリストとジェネラリストの違いなど、深い議論が交わされました。



まなび座Ⅰ：講師と学生、学生同士が議論

グローバル・ コミュニケーション

[2年生以上秋学期]

「まなび座Ⅰ」に続く第二弾のキャリア教育科目がこの秋、新規開講します。グローバル環境で活躍するための下地をつくるのが目的です。異文化コミュニケーションに関する講義やグループワークに加え、海外勤務経験のある卒業生をゲストに迎え外国人と信頼関係を構築するポイントについて考えます。校友会の多彩な卒業生人脈に期待しています。(市村准教授)

グローバルビジネス 実践論

[2年生以上秋学期]

世界経済が益々グローバル化し、海外進出へのスピードを速めている。平成28年度秋学期に新規開講する本講座では、更に一步進めて主要企業の海外ビジネスで活躍した8人の経験豊富な講師が、ビジネス世界の現実、経済の仕組み、企業活動の実態、海外駐在員のやりがいと苦労等を体験の中から教授するので、理論だけではなく実務の世界を肌で感じるすることができます。8人の講師の様々なジャンルの実務経験を吸収することにより、将来職業を選択する際の一助になるでしょう。業界として、航空・観光、食品、情報通信、精密化学、自動車、金融、医薬品、総合商社。一部英語による講義も予定。

■ 留学・国際交流

■ インターナショナルウィーク 2016

2016年5月9日～13日にインターナショナルウィーク2016が開催されました。校友会の協力で開催された留学経験者による座談会では、留学を決意する時に、多くの人が不安に思うこと、知りたと思うことが話し合われました。

他にも、協定校・留学生出身校の紹介、個別留学相談会、留学生と日本人学生の交流会等がありました。

留学を大学生活の1つの選択肢と考える良い機会になりました。(大学院都市イノベーション学府・小松)



上：講師と学生の交流会
右：留学経験者による座談会



■ 校友会は4学部と共催で

■ 講演会を4回開催します

教育人間科学部、経済学部、経営学部、理工学部と校友会はそれぞれの学部と共催で、秋学期に4回開催。各学部生にとってより身近な興味深いテーマで講師をお呼びします。追って校友会ホームページで案内しますが、学生はどの講演会も参加できます。校友会会員証をお持ちの学生の保護者の方も参加できます。



昨年度第4回小泉元内閣総理大臣の講演

今年度の開催予定

- 教育人間科学部と共催
11月25日(金) 16:15-17:45
場所：6号館101教室
講師：新井健一様
(ベネッセ教育総合研究所理事長)
演題：未定
- 経営学部と共催
12月1日(木) 10:30-12:00
場所：未定
講師：飯島彰己様(経営学部1974年卒)
(三井物産株式会社代表取締役会長)
演題：未定
- 経済学部と共催(近々決定予定)
- 理工学部と共催(近々決定予定)

参加方法は校友会ホームページにて案内します。
▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

グローバル新時代に向けて 文理融合的視点からのイノベーションをめざす

グローバル化の先端を走り、内外の未来を切り拓く。
ALL YNUのイノベーションを、校友会は力強く支えます。

人文、社会、理工の “三層イノベーション”を展開

長谷部 本学は理工学部に加え大学院の工学研究院、環境情報研究院、都市イノベーション研究院があり、科学技術をベースに先端的なイノベーションをめざしています。例えば社会インフラの安全、水素エネルギー変換化学、超省エネルギープロセッサ、情報・物理セキュリティ、超高信頼性自己治癒材料、次世代居住都市研究など、組織的に強い分野を伸ばしていくことを一つの戦略としています。それに加え、教育人間科学部、経済学部、経営学部などの人文社会科学分野の先生方にも加わってもらい、文理融合的な視点から科学技術が社会に実装され、本当に役立つものになるための市場ニーズや企業組織を総合的に検討することが可能である点も本学の大きな強みととらえています。

杉田 最先端の分野では、どうしても技術に特化したイノベーションを考えがちですが、人文社会科学の専門家と一緒に市場の予測、分析を行うことはこれからの時代には必要な視点ですね。

長谷部 価値を創造していくためには哲学や文化・文明論などの人文系の広い視野も必要です。人文系で将来の長期的な視野で価値を創造し、理工系がそのための科学技術を進展し、社会系が社会実装されるための条件やビジネスモデルを探求する。横浜国立大学がイノベーションのフロンティアとなっていくために、このような三層のイノベーションが必要だと考えています。この三層をうまく合わせて、今後展開していきたいです。

杉田 “三層イノベーション”とは、良い言葉ですね。

長谷部 ありがとうございます。本学はグローバル化の波にさらされているここ神奈川、あるいは横浜に着目して都市の問題を総合的に扱っています。私は30年来ここ横浜で教育研究に携わっていますが、横浜は日本で初めて開港した場所ということもあって、国際化が進み異文化交流の盛んな町で、京浜工業地域に象徴されるように先端的な産業集積地としての顔がある一方で、団地の老朽化、郊外住宅地の高齢化、地震など災害リスクの高さなど多くの困難も抱えています。横浜・神奈川地域の直面している問題を大学として積極的に課題解決に取り組むことで、ローカルな視点とグローバルな視点が繋がるという意味で非常に特色ある地域だと思っています。

現に、私が学長となって以降、神奈川県が進める「未病と健康長寿」に関するプロジェクトに参加し、医療特区としての京浜工業地帯の産業再生に携わったり、ロボット特区となった相模原市と包括協定を結ぶなど、この地域でリージョナルイノベーションを実践しはじめています。

杉田 そういった研究は全国の都市も注目するでしょうし、いろいろな問題に発展して行く可能性があります。

長谷部 現在、計画中ですが、以上のようなグローバル化とイノベーションの推進の実現をめざし、建築系、都市基盤系、環境リスク系といった理工学部と人文社会分野が、分野横断で文理融合的に展開していく新しい学部として、「都市科学部（仮称）」の平成29年度設置を検討しています。さらに研究面で言えば、昨年10月に

設立された先端科学高等研究院では、広く社会全体のリスクを捉え、先端的な科学によってリスクを提言し安心して安全な社会を考える研究を行っています。現在、先の特徴で挙げた分野を含めて11のユニットがあり、人文系、社会系のユニットでイノベーションと社会をつなぐような横断的な組織で研究を進めて行く所存です。



長谷部 勇一
横浜国立大学 学長

1954年生まれ。1981年一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。1984年横浜国立大学経済学部助教授。1990年カリフォルニア州立大学バークレー校客員研究員。1996年横浜国立大学経済学部教授。2008年同大学大学院国際社会科学研究院教授



杉田 亮毅
横浜国立大学校友会 会長

公益社団法人日本経済研究センター特別顧問
株式会社日本経済新聞社顧問

ジャーナリスト、実業家。1937年長崎生まれ。1961年横浜国立大学経済学部卒業、日本経済新聞社入社。同社代表取締役社長、会長などを歴任

校友会学生幹事会Seagulls

学生の手で YNU に輝かしい未来を

設立から2年目を迎えた校友会。校友会に新設された学生幹事会Seagullsを通して、君と一緒にYNUの未来を輝かしいものにしませんか？

校友会学生幹事会Seagulls会長 丸岡成 (大学院工学府博士課程後期2年)

はじめまして。我々は学生幹事会Seagullsと申します。

まず、質問ですが、みなさんは校友会のイベントに参加したことがありますか？

従来からの各学部同窓会活動は専門性の高い分野における卒業生との縦の交流が中心でしたが、校友会は在学生を中心に、学部・大学院の枠を超えた横の交流や国際的な交流を重視しています。このALL YNU体制を基盤に、益々多様化する社会において在学生が光り輝ける存在として羽ばたけるように、校友会ではこれまでに教育支援などを



アプリコンテスト宣伝用の看板設置風景

展開してきました。私は、学生幹事として一年間運営に携わり、今まで交流する機会が少なかった文系の方々と接し、文系視点でのモノの見方に刺激を受けるとともに、このような体験ができたのは、校友会ならではの経験でした。みなさんご存知のようにこれからの社会は「文系だから」「理系だから」関係ないという状況ではなく、幅広い視点からモノを見るチカラを身につけることが重要です。校友会には多様化する社会に対応するための学びの場や交流の場が様々な形で広がっています。

校友会活動の主なターゲットは在学生です。在学生は受け身になりがちです。しかし、学生自身も主体性を持ち、学生目線と社会人目線とが調和した運営体制で校友会を盛り上げていくことが本学のさらなる発展には欠かせません。そこで、「学生の、学生による、学生のための、組織」として学生幹事会Seagullsを2016年3月に立ち上げました。Seagullsでは、週一のミーティン

校友会学生幹事会Seagulls 基本データ

目的：学生目線と社会人目線との調和を目指した校友会内既存企画の運営と新規企画の提案・運営

人数：9名(文系・理系の学部生から大学院生を含む)

来歴：2016年3月立上げ

活動：週一のミーティングと各企画ユニット会議を基本として、学生目線と社会人目線との調和を目指した活動と運営を行う



毎週開催している学生幹事会Seagulls会議の様子

グと月一の親睦会を通して、大学生活をより豊かにするためには、今何が必要なのかということ日々考えています。現在、学生発信で立ち上げた新企画である「ライフプランセミナー」「自己分析セミナー」の運営や、「YAC」「若手社会人と学生との交流会」などの既存の企画運営も行っています。校友会の既存企画の改善や新規企画の発案など、YNUをよりよくしたい熱い思いを持った学生たちがアウトプットできる場所がSeagullsにはあります。これを読んだあなたも我々と一緒にYNUを改革しませんか？ 気兼ねなく seagulls.ynu@gmail.com までご連絡ください。



上：七夕の短冊に願いを込めて：校友会事務局前
左：全員集合：本部棟前にて

第11回横浜国立大学ホームカミングデー

= テーマ：YNUの今とこれから =

**今年度も
大学祭(常盤祭)と同日開催!**

**平成28年10月29日(土)
是非ご参加を**

校友会総会(下段参照)後に、
ホームカミングデー(HCD)として
メイン講演会をはじめ各種催しを開催します。
在學生は大学祭と合わせ、
また保護者、卒業生の皆さまも横浜国立大学を
じっくり体験していただく機会として、
ぜひご参加ください。

(各種催しの詳細は右ホームページをご覧ください。)



昨年度のHCDの様子

**メイン講演会 10:30~11:30
教育文化ホール**

広く社会全体のリスクを捉え、先端的科学によってリスクを提言、安心安全な社会を考える研究を行っているYNUが誇る「先端科学高等研究院」の11ユニットから代表4つの研究報告です。

[講演者]

全体の紹介

先端科学高等研究院 副高等研究院長 三宅淳巳教授

- ①日本の安全なインフラのため
藤野陽三上席特別教授
- ②未来を拓く再生可能エネルギーベースの
水素の導入に向けて 光島重徳教授
- ③モノのインターネットのサイバーセキュリティ
吉岡克成准教授
- ④中南米諸国の躍進と日本との関係：
パラグアイの日系企業を中心として
藤掛洋子教授

第11回横浜国立大学ホームカミングデー
ホームページ

▶ <http://homecoming.ynu.ac.jp>



12:00-13:15 教育文化ホール

**“オペラ歌手笛田博昭氏のオペラとカンツォーネ”と
“現役グリークラブとOBによる合唱” ジョイントコンサート**

笛田博昭氏は、2006年イタリア声楽コンクールでイタリア大使杯、2007年マダムバタフライ世界コンクール第1位、2014年日伊声楽コンクール第1位など多数受賞。ミラノ2度留学。類まれなる“声”と生まれ持った“感性”“容姿”な

ど生かし国内外・各地で活躍中。日本の三大テノール歌手の一人・若手のホープの歌唱力をお楽しみください。

予定曲名：オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」(作曲プッチーニ)「ゴッドファーザーのテーマ」(作曲ニノ・ロータ)など



笛田博昭氏
テノール歌手
(藤原歌劇団)



藤原藍子氏
ピアノ演奏
(藤原歌劇団)

常盤祭と同日開催 横浜国立大学校友会総会のお知らせ

平成28年10月29日(土) 9:30~10:00、教育文化ホール大集会室にて、第2回横浜国立大学校友会総会を開催致します。当日は会員はもちろんのこと、在學生の保護者の皆様も参加いただけます。

議事内容は、①平成27年度事業報告・収支報告

②平成28年度事業計画・収支予算を予定しています。横浜国立大学校友会について、ご意見をいただける貴重な場となりますので、ご都合のつく方は是非ご参加ください。

平成27年度活動・決算報告

平成27年度事業報告および決算は平成28年5月11日(水)に校友会監事4名による監査において、「適切」であるとの報告を受け、同5月26日(木)に開催された理事会及び評議員会において承認決議されました。

平成27年度開催の主要会議と主な事業は下記のとおりです。

I. 主要会議として下記会議を開催しました。

- 平成27年5月28日(木):理事会、評議員会
- 平成27年10月6日(火):理事会、評議員会
- 平成27年10月31日(土):校友会総会
- 平成28年3月9日(水):理事会、評議員会
- 専門委員会の開催
 - 総務財務委員会:5回
(うち企画委員会と合同3回)
 - 企画委員会:4回
(うち総務財務委員会と合同3回)
 - HCD実行委員会:3回
 - 広報委員会:3回
 - 交流運営委員会:3回
 - 若手校友会5回
 - 校友会費等検討プロジェクト:5回
 - 学生幹事会準備委員会:8回

II. 主要事業は下記のとおりです。

1. 校友会設立記念講演会「時代は変わる」シリーズ開催

(全8回、総参加者数 1,450名)

各界著名人を招いて、大きく変化するこの時代、変わる世界の枠組みを、それぞれの立場から深い見識に基づいたお話をいただき、将来を鳥瞰して、世界はどう変わっていくかを考えました。

2. キャリア教育科目開講

教養教育科目「まなび座Ⅰ」全学部1年生対象
(春学期開催/2単位・15コマ)

毎回上級生や若手の先輩がプレゼンターになり、グループで課題発見・討議・発表をして、自律的に将来を構想できる土台作りを狙いとした講座を行いました。

平成27年度横浜国立大学校友会決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減
【収入の部】			
基本財産運用収入			
・基本財産利息収入	0	0	0
会費収入			
・正会員収入			
会費収入(学部生)	14,310,000	13,990,000	△ 320,000
会費収入(大学院生)		0	0
雑収入			
・寄附収入	1,000,000	741,000	△ 259,000
・受取利息収入		1,551	1,551
・会報広告収入		0	0
・その他雑収入	0	200	200
当期収入合計(A)	15,310,000	14,732,751	△ 577,249
前期繰越金	8,549,850	8,549,850	0
収入合計(B)	23,859,850	23,282,601	△ 577,249
【支出の部】			
事業費			
・新入生向け事業	4,992,000	3,633,096	1,358,904
・学生対象の事業	2,216,000	863,265	1,352,735
・卒業時の事業	50,000	0	50,000
・全会員対象の事業	2,000,000	962,387	1,037,613
・その他事業	200,000	0	200,000
管理費			
・会議費	100,000	62,162	37,838
・備品費	0	556,308	△ 556,308
・その他管理費	2,320,000	1,130,849	1,189,151
当期支出合計(C)	11,878,000	7,208,067	4,669,933
当期収支差額(A)－(C)	3,432,000	7,524,684	4,092,684
次期繰越金(B)－(C)	11,981,850	16,074,534	4,092,684

3. イベント・コンテスト

5月:清陵祭にて新入生歓迎テント出展

7月:留学・国際交流イベント「Go Global YNU」開催
(協力:内閣府、文部科学省)

10月:第10回ホームカミングデー開催(常盤祭初日と同日開催)

11月:「社会人の先輩と留学生・日本人学生との交流会」開催

11月:「第2回横浜国立大学アプリコンテスト最終審査会・交流会」開催



ご寄附いただいた皆さま

横浜国立大学校友会へのご寄附に対しまして厚く御礼申し上げます。
引き続き、校友会へのご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成27-28年度寄附者御芳名

(平成27年9月から28年7月)

寄附金2万円以上で掲載可の方のみご寄附順・敬称略)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 神里僚子 | 7 小野塚新 | 13 泉宏之 |
| 2 永井孝雄 | 8 ルレ美華子 | 14 眞田一志 |
| 3 宮田芳文 | 9 山岸紀美江 | 15 杉田亮毅 |
| 4 山川隆 | 10 石塚隆正 | 16 中島恵理花 |
| 5 井上誠一 | 11 山田栄一郎 | 17 長崎駿二郎 |
| 6 横田英靖 | 12 石黒利昌 | 18 寺西昭 |

横浜国立大学校友会 ホームページのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です)

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



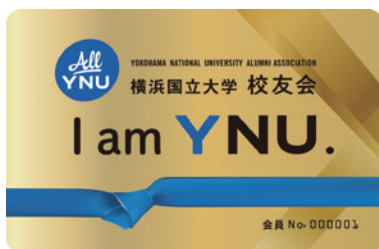
横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。会員システムにご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、
校友会ホームページのグローバルメニュー
「会員サイト」→
右メニュー「サイトへのリンク」をクリック

※既に会費をお支払いになられている会員(新1年生)につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証を配布中です。会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しくださるようお願いいたします。

横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第2号

2016年8月24日発行

- 本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- 横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会
連絡先 横浜国立大学校友会 事務局
TEL:045-339-3177 FAX:045-339-3178
e-mail:koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：横浜港のインナーハーバーより(撮影：川添裕)

